



## 産科フィスチュラ（瘻孔）の予防

### 背景

産科フィスチュラ（瘻孔）は、分娩停止または分娩遷延（またはその両方）の合併症であり、特に貧困や教育機会の不足、家族計画やリプロダクティブヘルスに関するサービスへのアクセスの欠如などにより、最も弱い立場にある女性が影響を受ける公衆衛生上の問題である。女性や家族、社会に与える影響は最悪であるにもかかわらず、最も軽視されている出産にまつわる症状のひとつである。

産科フィスチュラがもたらす結果は、医学的・心理社会的・経済的に深刻である。この予防可能なはずの症状に陥った女性は、慢性的な尿失禁・便失禁にみまわれ、これにより皮膚感染や腎臓疾患をまねき、治療しないと死に至ることすらある。分娩停止または分娩遷延で胎児は死産となる可能性が高く、女性は失禁ゆえに社会的に疎外されたり、夫や家族から見捨てられることもある。その結果、経済的な困窮に至る。

治療を受けていない産科フィスチュラの患者は、全世界で 200 万人以上と推定されている。最も患者が多いのは、アフリカ、南アジア、中東の国々である。西アフリカでは、出産 1,000 例あたり 4 例に上ると言われる。また、おそらく毎年新たに 5 万から 10 万人の患者が生じている。しかし、治療の対応能力は、年間約 6,000～7,000 人とどまる。

適切な緊急の産科ケアを含む出産時の助産師の技術の高いケアこそが、産科フィスチュラを防ぐための要となることは研究から明らかである。長期的な解決策としては、女性とそのコミュニティーに対し、有効な保健施設へのアクセスと、十分な妊産婦ケアの人的リソースと、家族計画サービスへのアクセスが確保されることである。産科フィスチュラの予防と管理は、ミレニアム開発目標の目標 5 になっている「妊産婦の健康状態の改善」にも貢献するであろう。国連人口基金（UNFPA）の「フィスチュラ撲滅グローバルキャンペーン」や、世界産婦人科連盟（FIGO）の「フィスチュライニシアチブ」など、様々な機関が協力して産科フィスチュラの予防と治療に取り組んでいる。

## 所信声明

産科フィスチュラは、助産師が国内・地域そして国際レベルで積極的に関与し、以下の役割を果たすことによつてのみ撲滅することができる。

- 熟練を要する助産ケア、特に妊娠・分娩・産褥のケアを提供する。
- 産科フィスチュラのリスク要因を説明する健康教育を提供する。
- 女性とその家族、コミュニティーによる保健サービス・妊産婦サービスの利用を促進する。
- 家族計画など、幅広いリプロダクティブ・ヘルスサービスを提供する。

## 会員協会への指針

ICM 会員協会に対して、以下を求める。

- アクセス可能な質の高い妊産婦ヘルスケア（家族計画、熟練した出生時のケア、基本的かつ包括的な緊急時産科ケア）と、産科フィスチュラの費用負担の少ない治療が含まれる）を提供できる保健医療制度の実現を代弁すること。
- 助産教育に、産科フィスチュラの予防と臨床スクリーニングを目的としたモジュールを組み入れること。
- 政治上の権力者やオピニオンリーダー、選ばれた代表者に代わつて、弁護手段を講じることに寄与すること。
- 産科フィスチュラ予防の政策や実践計画の策定と普及に寄与すること。
- 産科フィスチュラの予防に関して、コミュニティーや家族への教育に寄与すること。

## 関連 ICM 文書

ICM 所信声明 2011 年 助産師、女性と人権

ICM 所信声明 2011 年 出産における伝統と文化

ICM 2010 年 基本的助産業務に必須な能力

## その他の関連文書

FIGO. 2010. Website Fistula Initiative. [http://www.figo.org/projects/fistula\\_video](http://www.figo.org/projects/fistula_video)

Lewis Wall, L. 2006. Obstetric vesicovaginal fistula as an international public-health problem. *The Lancet*. Vol 368 pp. 1201-09

Royal College of Midwives. 2010. Obstetric Fistula. A fact sheet.

UNFPA. 2009. *The Maternal Health Thematic Fund Annual Report 2009. Campaign to End Fistula*.

UNFPA. 2009. *Factsheet Obstetric Fistula. When pregnancy harms*.

UNFPA. Website <http://www.endfistula.org>

WHO. 2010. 10 Facts on Obstetric Fistula

[http://www.who.int/features/factfiles/obstetric\\_fistula/facts/en/index.html](http://www.who.int/features/factfiles/obstetric_fistula/facts/en/index.html)

WHO. 2006. Obstetric Fistula: Guiding principles for clinical management and programme development

[http://whqlibdoc.who.int/publications/2006/9241593679\\_eng.pdf](http://whqlibdoc.who.int/publications/2006/9241593679_eng.pdf)

**2011年ダーバン国際評議会にて採択**

次回改訂予定 2017年